

自己資本の構成に関する事項（2024年9月期、2025年9月期）

● 単体自己資本比率（国内基準）（単位：百万円）

項 目	2024年9月期	2025年9月期
コア資本に係る基礎項目（1）		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	15,219	16,074
うち、資本金及び資本剰余金の額	3,939	3,939
うち、利益剰余金の額	11,432	12,313
うち、自己株式の額（△）	86	90
うち、社外流出予定額（△）	65	87
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,319	1,258
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,319	1,258
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	16,539	17,332
コア資本に係る調整項目（2）		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	46	35
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	46	35
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	—	—
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	46	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	93	35
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	16,445	17,297
リスク・アセット等（3）		
信用リスク・アセットの額の合計額	165,567	165,531
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	9,155	9,822
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
フロア調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	174,722	175,353
自己資本比率		
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	9.41%	9.86%

定量的な開示事項

(2024年9月期、2025年9月期)

● 自己資本の充実度に関する事項

2024年9月期

イ. 信用リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	2024年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額
【資産（オン・バランス）項目】		
現金	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—
国際決済銀行等向け	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—
国際開発銀行向け	—	—
地方公共団体金融機構向け	—	—
我が国の政府関係機関向け	180	7
地方三公社向け	—	—
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	1,395	55
法人等向け	49,889	1,995
中小企業等向け及び個人向け	64,037	2,561
抵当権付住宅ローン	2,766	110
不動産取得等事業向け	29,196	1,167
三月以上延滞等	1,210	48
取立未済手形	—	—
信用保証協会等による保証付	1,388	55
株式会社地域経済活性化支援機構による保証付	—	—
出資等	7,656	306
上記以外	3,432	137
複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	3,748	149
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	—	—
他の金融機関等の対像資本調達手段に係るエクスポートに係る経過措置によりリスクアセットの額に算入されなかったものの額	—	—
資産（オン・バランス）計	164,902	6,596
【オフ・バランス取引等項目】		
法人等向け	409	16
中小企業等向け及び個人向け	161	6
不動産取得等事業向け	—	—
三月以上延滞等	94	3
上記以外	—	—
オフ・バランス取引等計	664	26
【CVAリスク相当額及び中央清算機関関係】		
CVAリスク相当額	—	—
中央清算機関関係	—	—
合 計	165,567	6,622

(注) 所要自己資本額＝リスク・アセット×4%

ロ. マーケット・リスクに対する所要自己資本の額及びこのうち使用する方式ごとの額
該当ありません。

ハ. オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

項 目	所要自己資本額 2024年9月期
基 礎 的 手 法	366

二. 総所要自己資本額

(単位：百万円)

項 目	2024年9月期
信用リスク（標準的手法）	6,622
オペレーショナル・リスク（基礎的手法）	366
総所要自己資本額	6,988

事業の概況
地域密着型金融の
状況
資本金
株式・従業員
中間財務諸表
損益の状況
営業の状況
各種経営指標
バーゼルⅢ（第3の柱）
に基づく開示事項

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

2025年9月期

イ. 信用リスク及びリスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額
及び信用リスクに対する所要自己資本の額 (単位：百万円)

項 目	2025年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額
現金	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—
国際決済銀行等向け	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—
国際開発銀行向け	—	—
地方公共団体金融機構向け	—	—
我が国の政府関係機関向け	0	0
地方三公社向け	—	—
金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	1,356	54
(うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け)	90	3
カード・ボンド向け	—	—
法人等向け(特定貸付債権向けを含む。)	45,630	1,825
(うち特定貸付債権向け)	—	—
中堅中小企業等向け及び個人向け	54,207	2,168
(うちトラントラクター向け)	—	—
不動産関連向け	45,837	1,833
(うち自己居住用不動産等向け)	14,056	562
(うち賃貸用不動産向け)	31,780	1,271
(うち事業用不動産関連向け)	—	—
(うちその他不動産関連向け)	—	—
(うちA D C向け)	—	—
劣後債権及びその他資本性証券等	—	—
延滞等向け(自己居住用不動産等向けを除く。)	3,255	130
自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	208	8
取立未済手形	—	—
信用保証協会等による保証付	1,576	63
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—
株式等	5,384	215
上記以外	3,915	156
(うち重要な出資のエクスポージャー)	—	—
(うち他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通株式等及びその他外部T L A C関連調達手段に該当するものの以外のもに係るエクスポージャー)	—	—
(うち特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー)	651	26
(うち総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部T L A C関連調達手段に関するエクスポージャー)	—	—
(うち総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部T L A C関連調達手段に係るエクスポージャー)	—	—
(うち上記以外のエクスポージャー)	—	—
証券化	—	—
(うちSTC要件適用分)	—	—
(うち短期STC要件適用分)	—	—
(うち不良債権証券化適用分)	—	—
(うちSTC・不良債権証券化適用対象外分)	—	—
再証券化	—	—
リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	4,158	166
未決済取引	—	—
他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	—	—
合 計	165,531	6,621

(注) 所要自己資本額＝リスク・アセット×4%

事業の概況

地域密着型金融の
取り組み状況

資本金・株式・従業員
の状況

中間財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

バーゼルⅢ(第3の柱)
に基づく開示事項

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

ロ. マーケット・リスクに関する次に掲げる事項
該当ありません。

ハ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額及びオペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額等
(単位：百万円)

項	目	2025年9月期
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	9,822
	オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	392
	BI	6,548
	BIC	785
	ILM	1.00

二. リスク・アセットの合計額及び総所要自己資本額
(単位：百万円)

項	目	2025年9月期	
		リスク・アセットの額	所要自己資本の額
信	用	165,531	6,612
オ	ペ レ ー シ ョ ナ ル ・ リ ス ク	9,822	392
合	計	175,353	7,005

●信用リスク（リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する事項

※期中平均残高は、中間期末残高から大幅に乖離していないため、記載しておりません。

- イ. 信用リスクに関するエクスポージャーの中間期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳
- ロ. 信用リスクに関するエクスポージャーの中間期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳
- (1) 地域別、(2) 業種別又は取引相手の別、(3) 残存期間別
- ハ. 延滞エクスポージャーの中間期末残高又はデフォルトしたエクスポージャーの中間期末残高及びこれらの次に掲げる区分ごとの額
- (1) 地域別、(2) 業種別又は取引相手の別
- 信用リスクに関するエクスポージャー及び三月以上延滞エクスポージャーの中間期末残高

(単位：百万円)

		信用リスクに関するエクスポージャーの中間期末残高							
		貸出金等、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引				債 券		三月以上延滞エクスポージャーの中間期末残高	延滞エクスポージャーの中間期末残高
		2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期	2025年9月期
地 域 別	国 内 計	274,847	282,075	192,626	195,435	29,778	30,197	1,683	3,530
	国 外 計	—	—	—	—	—	—	—	—
地 域 別 計		274,847	282,075	192,626	195,435	29,778	30,197	1,683	3,530
業 種 別	製 造 業	11,429	9,507	6,198	6,585	4,538	2,783	691	138
	農 業、林 業	1,683	1,750	1,683	1,731	—	—	—	19
	漁 業	435	439	435	434	—	—	—	5
	鉱業、採石業、砂利採取業	63	44	63	44	—	—	—	—
	建 設 業	21,505	22,470	20,063	20,959	1,245	1,081	196	429
	電気・ガス・熱供給・水道業	15,087	11,724	11,329	10,184	3,758	1,386	—	153
	情 報 通 信 業	1,888	1,729	790	915	1,093	798	5	15
	運 輸 業、郵 便 業	4,566	5,137	3,474	3,415	1,078	1,491	12	230
	卸 売 業、小 売 業	15,863	17,543	13,694	15,346	1,608	1,557	559	640
	金 融 業、保 険 業	8,201	5,595	2,462	1,963	5,738	3,631	—	—
	不動産業、物品賃貸業	61,626	61,878	58,719	58,035	2,880	3,405	26	437
	各種サービス業	37,130	39,538	36,414	37,698	572	443	143	1,396
	国・地方公共団体	12,046	16,717	4,782	3,098	7,263	13,618	—	—
	個 人	32,562	35,086	32,513	35,022	—	—	48	64
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—
業 種 別 計		224,088	229,163	192,626	195,435	29,778	30,197	1,683	3,530
残 高 合 計		274,847	282,075	192,626	195,435	29,778	30,197	1,683	3,530
残 存 期 間 別	1 年 以 下	32,672	37,228	27,106	32,800	4,412	3,135	1,153	1,292
	1 年 超 3 年 以 下	16,841	26,313	10,670	9,438	6,058	16,520	111	355
	3 年 超 5 年 以 下	21,103	28,775	13,262	18,450	7,673	9,847	167	477
	5 年 超 7 年 以 下	24,678	16,645	21,896	16,207	2,725	96	57	341
	7 年 超 10 年 以 下	31,048	25,139	25,079	24,821	5,842	—	126	318
	10 年 超	97,384	94,166	94,253	92,825	3,065	598	65	743
	期限の定めのないもの	359	894	357	892	—	—	1	1
	その他（区分なし）	50,758	52,912	—	—	—	—	—	—
残 存 期 間 別 計		274,847	282,075	192,626	195,435	29,778	30,197	1,683	3,530

(注) 1. オフ・バランス取引はデリバティブ取引を除く。

2. 2024年9月期の「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャー、又は引当金勘案前でリスク・ウェイトが150%以上であるエクスポージャー。

3. 政府保証債、公社公団債は金融業、保険業に区分。

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

二．一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の中間期末残高及び期中の増減額

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の中間期末残高及び期中増減額 (単位：百万円)

		期 首 残 高	期 中 増 加 額	期 中 減 少 額		中間期末残高
				目 的 使 用	そ の 他	
一 般 貸 倒 引 当 金	2024年9月期	1,323	1,319	—	1,323	1,319
	2025年9月期	1,244	1,258	—	1,244	1,258
個 別 貸 倒 引 当 金	2024年9月期	1,751	1,730	242	1,508	1,730
	2025年9月期	1,235	1,127	162	1,072	1,127
合 計	2024年9月期	3,074	3,050	242	2,831	3,050
	2025年9月期	2,479	2,385	162	2,317	2,385

(一般貸倒引当金の地域別、業種別内訳)

一般貸倒引当金については、地域別・業種別ごとに算定を行っていないため、開示しておりません。

(個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳) (単位：百万円)

		2024年9月期	2025年9月期
		中間期末残高	中間期末残高
国 内 計		1,730	1,127
国 外 計		—	—
地 域 別 計		1,730	1,127
製 造 業		404	41
農 業、林 業		10	7
漁 業		—	—
鉱業、採石業、砂利採取業		—	—
建 設 業		183	211
電気・ガス・熱供給・水道業		1	97
情 報 通 信 業		9	6
運 輸 業、郵 便 業		41	37
卸 売 業、小 売 業		354	315
金 融 業、保 険 業		—	—
不動産業、物品賃貸業		27	46
各 種 サ ー ビ ス 業		555	347
国・地方公共団体		—	—
個 人		142	17
そ の 他		—	—
業 種 別 計		1,730	1,127

ホ．業種別又は取引相手の別の貸出金償却の額 (単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
	貸出金償却	貸出金償却
製 造 業	—	—
農 業、林 業	—	—
漁 業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建 設 業	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情 報 通 信 業	—	—
運 輸 業、郵 便 業	—	—
卸 売 業、小 売 業	—	—
金 融 業、保 険 業	—	—
不動産業、物品賃貸業	—	—
各 種 サ ー ビ ス 業	—	—
国・地方公共団体	—	—
個 人	—	—
そ の 他	—	—
業 種 別 計	—	—

ヘ．標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの内訳 (単位：百万円)

ポートフォリオ区分	2025年9月期					
	CCF・信用リスク削減手法勘案前		CCF・信用リスク削減手法勘案後		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (%)
	オン・バランスシートのエクスポージャーの額	オフ・バランスシートのエクスポージャーの額	オン・バランスシートのエクスポージャーの額	オフ・バランスシートのエクスポージャーの額		
我が国の中央政府及び中央銀行向け	36,034	—	36,034	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	5,773	—	5,773	—	—	—
我が国の政府関係機関向け	2	—	2	—	0	10.00
金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	5,833	—	5,833	—	1,356	23.26
法 人 等 向 け	58,772	536	58,729	536	45,630	76.99
中堅中小企業等向け及び個人向け	71,832	5,925	71,446	764	54,207	75.07
不 動 産 関 連 向 け	52,625	—	52,625	—	45,837	87.10
延滞等向け(自己居住用不動産等向けを除く。)	2,418	—	2,416	—	3,255	134.72
自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	208	—	208	—	208	100.00
信用保証協会等による保証付	21,600	—	21,600	—	1,576	7.30
株 式 等	5,383	—	5,383	—	5,384	100.01
そ の 他	2,238	—	2,238	—	—	—
合 計	262,724	6,461	262,293	1,301	157,458	59.73

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

ト．標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーについて、適切なポートフォリオの区分ごとのCCFを適用した後及び信用リスク削減手法の効果を勘案した後のエクスポージャーの額並びにこの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの内訳

(単位：百万円)

ポートフォリオ区分	2025年9月期											
	資産の額及び与信相当額の合計額（CCF・信用リスク削減効果適用後）											
	40%未満	40%以上70%以下	75%	80%	85%	90%以上100%以下	105%以上130%以下	150%	250% (注)	400% (注)	1,250%	合計
我が国の中央政府及び中央銀行向け	36,034	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36,034
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	5,773	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,773
我が国の政府関係機関向け	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	5,333	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,833
法人等向け	5,293	6,727	1,248	—	38,297	7,598	100	—	—	—	—	59,266
中堅中小企業等向け及び個人向け	—	—	72,011	—	—	198	—	—	—	—	—	72,210
不動産関連向け	3,672	4,139	17,028	—	—	—	27,512	272	—	—	—	52,625
延滞等向け(自己居住用不動産等向けを除く。)	—	102	—	—	—	533	—	1,780	—	—	—	2,416
自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	—	—	—	—	—	208	—	—	—	—	—	208
信用保証協会等による保証付	21,600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21,600
株式等	—	—	—	—	—	—	—	—	5,383	—	—	5,383
その他	2,238	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,238
合計	79,949	11,469	90,289	—	38,297	8,539	27,612	2,053	5,383	—	—	263,594

(注) 経過措置を適用する前のリスク・ウェイトの区分に応じた額を記載しています。

チ．標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち自己資本比率告示第55条から第76条まで及び第77条の2の規定に該当するエクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの内訳

(単位：百万円)

	2025年9月期			
	CCF・信用リスク削減効果適用前		CCFの加重平均値 (%) (注) 2	資産の額及び与信 相当額の合計額 (CCF・信用リスク 削減効果適用後)
	オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目		
40%未満	79,949	—	—	79,949
40%以上70%以下	11,469	—	—	11,469
75%	90,109	3,936	14.36	90,289
80%	—	—	—	—
85%	38,040	275	100.00	38,297
90%以上100%以下	8,104	2,250	20.47	8,539
105%以上130%以下	27,612	—	—	27,612
150%	2,054	—	—	2,053
250% (注) 1	5,383	—	—	5,383
400% (注) 1	—	—	—	—
1,250%	—	—	—	—
合計	262,724	6,461	20.13	263,594

(注) 1. 経過措置を適用する前のリスク・ウェイトの区分に応じた額を記載しています。
2. CCFの加重平均値は、CCFを適用した後および信用リスク削減効果適用前のオフ・バランス資産項目の額を、CCFを適用する前および信用リスク削減効果適用前のオフ・バランス資産項目の額で除した割合です。

リ、標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額	
	格付適用	格付不適用
	2024年9月期	2024年9月期
0%	—	42,874
10%	198	15,482
20%	5,191	5,479
35%	—	7,904
50%	10,913	28
75%	—	85,598
100%	4,386	79,345
120%	—	100
150%	—	623
250%	—	574
350%	—	—
1,250%	—	—
その他（区分なし）	—	8,332
合計	20,689	246,344

(注) 1. 「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャー。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限る。
2. 「格付適用」エクスポージャーには、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーや、ソブリン格付に準拠したリスク・ウェイトを適用しているエクスポージャーが含まれる。

●信用リスク削減手法に関する事項

イ. 標準的手法又は基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオについて次に掲げる信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額
標準的手法 (単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
適格金融資産担保が適用されたエクスポージャー	408	431

ロ. 標準的手法又は内部格付手法が適用されるポートフォリオについて、保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャーの額
標準的手法 (単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャー	—	—

●派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

- イ. 与信相当額の算出に用いる方式
該当ありません。
- ロ. グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額
該当ありません。
- ハ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額（派生商品取引にあっては、取引の区分ごとの与信相当額を含む。）
該当ありません。
- 二. ロ. に掲げる合計額及びグロスのアドオンの合計額からハ. に掲げる額を差し引いた額（カレント・エクスポージャー方式を用いる場合に限る。）
該当ありません。
- ホ. 担保の種類別の額
該当ありません。
- ヘ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額
該当ありません。
- ト. 与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本額をクレジット・デリバティブの種類別、かつ、プロテクションの購入又は提供の別に区分した額
該当ありません。
- チ. 信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本額
該当ありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

- イ. 銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- ロ. 銀行が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- ハ. 銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- 二. 銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

事業の概況

● CVAリスクに関する事項

該当ありません。

● マーケット・リスクに関する事項

該当ありません。

● 出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

イ. 中間貸借対照表計上額、時価及び次に掲げる事項に係る中間貸借対照表計上額

(1) 上場している出資等又は株式等エクスポージャー（以下「上場株式等エクスポージャー」という。）

(2) 上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー

(単位：百万円)

	2024年9月期 中間貸借対照表計上額	2025年9月期 中間貸借対照表計上額
上場株式等エクスポージャー	11,145	10,083
上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー	129	126
合 計	11,275	10,209

ロ. 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
売却損益額	179	177
償却額	—	—

ハ. 中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
中間貸借対照表で認識され、中間損益計算書で認識されない評価損益の額	3,578	4,825

二. 中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額	—	—

ホ. 株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

該当ありません。

● リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	2024年9月期	2025年9月期
ルック・スルー方式	8,332	8,248
マンドート方式	—	—
蓋然性方式（250%）	—	—
蓋然性方式（400%）	—	—
フォールバック方式	—	—
合計	8,332	8,248

(注) ルック・スルー方式とは、ファンド内の個々の組入資産の信用リスク・アセットの額を算出し、合算する方式です。

地域密着型金融の
取り組み状況

資本金
の状況

株式・従業員

中間財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

バーゼルⅢ(第3の柱)
に基づく開示事項

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

●金利リスクに関する事項

IRRBB 1：金利リスク

(単位：百万円)

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末
1	上方平行シフト	253	795	361	322
2	下方平行シフト	0	0	0	0
3	スティープ化	625	1,479		
4	フラット化	0	—		
5	短期金利上昇	0	—		
6	短期金利低下	0	—		
7	最大値	625	1,479	361	322
		ホ		ヘ	
		当中間期末		前中間期末	
8	自己資本の額	17,297		16,445	

事業の概況

地域密着型金融の
取り組み状況

資本金・
株式・従業員
の状況

中間財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

バーゼルⅢ(第3の柱)
に基づく開示事項